

令和7年度 調布市立深大寺小学校 学校経営計画（学校長 箱崎 高之）

学校の教育目標

◎やさしく 思いやりのある子 ○よく考え すすんで学ぶ子 ○健康で 明るい子 ○ねばり強く やりぬく子

目指す学校像(ビジョン)

目指す学校像 【ごきげんな学校】

(1) 児童にとって 「喜びのある毎日が送れる安全で安心な学校」

【日々】 ・友達と関わることのできる喜び ・学んで分かる喜び ・心を解放して体を動かす喜び

【長い目で】 ・自分の存在が認められる喜び ・自分の成長が実感できる喜び ・自分の将来に希望がもてる喜び

(2) 保護者、地域にとって 「誇りに思える私たちの学校」

・よく見える学校→教育活動の積極的な発信 ・安心できる学校→素早く、丁寧で誠実な対応 ・私たちの学校→連携、協働の取組

(来校機会確保, 学校HP, すぐーの活用) (子どもの成長を願って共に悩み, 喜び) (コミュニティ・スクール, 地域とともにある学校づくり)

(3) 教職員にとって「子供の成長を喜び合える学校」

・風通しのよい明るい学校 ・やりたいことができる学校 ・成長できる学校

(まずは挨拶, コミュニケーションをしっかりと) (できない, やらない理由を作らずにチャレンジ) (学び, 成長する機会の確保 職に誇りと責任を)

ビジョンの設定理由
(本校の現状と課題)

○魅力ある学校づくりアンケートの結果は、「学校が楽しい」62%、「授業に主体的に取り組んでいる」57%、「授業がよく分かる」55%である。与えられたことには取り組むが、主体的に取り組むことや、自分の意見を表現すること、自らすすんで行動することが苦手である。児童が自分のよさに気づき、自分のよさを生かすことができるよう、環境を整え、活力に満ちた学校にすることが課題である。

○不登校及び不登校傾向のある児童が一定数いる。家庭、SC、関係機関と連携した組織的な対応を進めること、また、コミュニティ・スクール初年度として、「地域とともにある学校」づくりの体制を整えることが課題である。

○教科担任制、学年担任制を生かし、校内研究やOJTを通して、教員の指導力を向上させること。また、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を行うことが課題である。

中期的な経営目標

- 1 誰とでも仲良く協力し、親切にできる子どもの育成 2 生涯にわたって学び続けることができる子どもの育成 3 心や身体を大切に
して、積極的に行動する子どもの育成 4 学校・家庭・地域が協働して子どもたちの豊かな成長を支えていく学校づくり
5 美しい環境の学校づくり 人・組 授業力の向上 校務分掌の活性化 服務規律の徹底 ライフ・ワークバランスの推進

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
①安全で安心な学校生活を送るために学年担任制を生かして、子どもの良さを多面的・多角的に見取り、自己肯定感を育む。	①週ごとの指導計画を作成、提出し、ねらいを明確にした計画的な指導を行い、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る。	①挨拶を核とした深大寺小学校の生活目標「さしすせそ」の指導を徹底し、基本的な生活習慣の定着を図る。
②「感謝の心」を育む協働的な学びを取り入れた教育活動を行う。また、道徳授業改善のためにローテーション授業を行う。	②公開授業を年間52回行い、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、子どもを主語にした学習を推進する。	②栄養士と連携した食育指導、養護教諭による保健指導を通して、心身の健康の保持増進に関する意識を高める。
③児童の心や身体へのSOSを早期に把握し、積極的かつ適切な支援を実施するために、「こころの健康観察」を実施する。	③校内研究の分科会を通して、教科担任制を生かした「子どもにとって分かりやすい授業」を追究する。	③ねらいを明確にし、運動量を確保した体育授業を行うとともに、持久走週間・なわとび週間等の体育的活動を通して体力の向上を図る。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
①市・魅力ある学校づくり調査「学校が楽しい」65%以上	①国・学力調査・平均正答率国語70%以上・算数70%以上	①保護者アンケート「お子さんはすすんで挨拶ができる」A評価30%以上
②市・魅力ある学校づくり調査「みんなで何かをするのは楽しい」70%以上	②市・魅力ある学校づくり調査「授業に主体的に取り組んでいる」55%以上	②都・体力調査「朝食を毎日食べる」90%以上、「毎日8時間以上寝ている児童」65%以上
③保護者アンケート「子供たちが安心して生活できる」A評価55%以上	③市・魅力ある学校づくり調査「授業がよく分かる」55%以上	③都・体力調査「体力合計点」東京都平均以上を達成した学年(男女別)80%以上

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

4 保護者・地域との連携	5 美しい環境の学校づくり
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
①保護者の来校機会を毎月確保する。HPを年間150回以上更新する。	①児童を「さん」付けて呼ぶなど、丁寧に正しい言葉を使い言語環境を整える。
②学校運営協議会で熟議を重ね、地域とともにある学校づくりを進める。	②靴箱の靴をそろえることや清掃の指導を継続して行う。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
①保護者アンケート「家庭で学校の出来事が話題になる」A評価50%以上	①丁寧に正しい言葉を使うことができる教員100%
②保護者アンケート「地域・保護者と協力した教育活動」A評価50%以上	②靴箱の靴がそろっている学級、清掃が行き届いた学級60%以上

人材育成・組織運営

- 授業力の向上
・教科担任制を生かしたOJTの推進 ・校内授業公開52回実施による学び合いの機会確保 ・校内研究会の充実
- 校務分掌等の活性化
・主幹教諭を核とした組織運営の推進 ・起案文書の流れを徹底し、職の立場と役割を明確にし、意識を向上させる。
- 服務規律の徹底
・定期的な研修とサービスニュースレターを活用した校長講話により、教育公務員としての自覚と人権意識を高める。
- ワーク・ライフバランスの推進
・校務支援システムを最大限活用し業務を効率化させることで、全教員の1か月の時間外勤務45時間以内を目指す。

